

Robust Control and Asymmetries in Central Bank Forecasting

池田 太郎

久留米大学

要 旨

基本的な New Keynesian モデルに対し、中央銀行の非対称な予測をロバスト制御問題として追加することが目的である。非対称な予測は政策の経済予測に対する不安を表し、その不安の度合いは非対称な選好としてモデルに反映される。非対称な選好の存在は、中央銀行の予測が合理的な水準と完全には一致しない場合を想定している。

分析の結果、経済予測における不安と不確実に対する頑健さへの欲求はともに、金融政策の不確実性回避的な反応を促すことが分かった。つまり、それらは *cost-push shock* に対する金融政策の反応を高めていた。さらに、金融政策の不確実性回避的な傾向が強くなればなるほど、社会厚生 of 喪失が大きくなることが分かった。